国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 002-72・002-82・002-92	B 5 938	令和6年
15	三省堂	三省堂◆	国語 015-72・015-82・015-92	B 5 1,098	
17	教育出版	教 出◆	国語 017-72・017-82・017-92	B 5 1,087	
38	光村図書出版	光 村◆	国語 038-72・038-82・038-92	B 5 1,028	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立白鷗高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「開拓精神」の伝統のもと、教科横断的な探究型学習を推進して生徒の幅広い知的好奇心に応える。また、日本の伝統文化理解教育と国際理解教育を推進して自己のアイデンティティ確立とダイバーシティ（多様性）尊重の精神を養い、「競争」と「協働」ができる創造的なグローバル人材を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 補助教材等も利用して多くの作品に触れさせ、読解力の向上に努める。
- (2) 文章を書く時間を多く設け表現力の向上を図る。
- (3) 古典の学習を充実させることで古典に親しむ態度を育て、日本の文化や伝統に関心をもたせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を扱っている古典以外の教材数	台東地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 都立白鷗高等学校・附属中学校の教育内容の充実に係る検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、日本の文化・伝統を扱った現代文の教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を扱っている古典以外の教材数	b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	7	9	23	19
三省堂	17	5	32	20
教出	23	6	23	25
光村	18	10	29	28
平均値	16.3	7.5	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 能や歌舞伎などの伝統文化や衣食住等まつわる日本独自の文化・伝統を扱っている現代文の教材数を数えている。
- b 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立小石川中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

生徒が広い視野と豊かな教養を身に付けることを目指し、小石川教養主義に基づき全ての教科・科目を偏りなく学ぶとともに、これを土台とした理数教育、国際理解教育、6年間を貫く探究活動、専門家による特別講演などの特色ある教育活動を通じて、自ら志を立て、自分が進む道を切り拓き、新しい文化を創り出すグローバルリーダーを育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 「話す・聞く・書く・読む」の学習活動を通して、言語についての知識や技能、意欲や態度を高め、確かな国語の学力を育てる。
- (2) 主体的に読書する態度や習慣を培い、文章を読むことの基礎となる確かな読解力を育てる。
- (3) 自己学習力の向上を図り、大学での研究や社会生活にも十分活用できる豊かな国語の能力を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	文京地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 豊かな読書活動へと発展する教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- b 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	b 豊かな読書活動へと発展する教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	9	42	23	19
三省堂	5	31	32	20
教出	6	48	23	25
光村	10	32	29	28
平均値	7.5	38.3	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- b 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立両国高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自律自修」の精神に基づき、真理と正義を愛し、広く深い教養を身に付け、心身ともに健康で明朗な生徒を育成する。中高一貫教育校として、6年間の指導計画や探究活動を通じて、高い学力を身に付けさせるとともに、豊かな言語能力と望ましい職業観、高い志と世界的視野をもった人間性豊かな生徒を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 古典の学習を充実させることで古典に親しむ態度を育て、日本の文化や伝統に関心をもたせる。
- (2) 国際的視野に立った、国語力によるコミュニケーション能力を育成する。
- (3) グループ活動やスピーチ・プレゼンテーションを通して豊かな言語能力を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	墨田地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	同上	個
c 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	同上	個
d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を扱った教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- c 自分の考え・意見を正確に分かりやすく伝える能力を育成するため、発表活動や話し合い活動等の内容を扱うなど、音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数を調査する。
- d 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	c 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数
東書	18	9	15	23
三省堂	23	5	19	32
教出	26	6	20	23
光村	24	10	30	29
平均値	22.8	7.5	21.0	26.8

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 古典作品や古典作品の一部を引用しながら現代語で書かれた文章など、古典教材として位置付けられている教材数を数えている。
- b 能や歌舞伎などの伝統文化や衣食住等まつわる日本独自の文化・伝統を扱っている現代文の教材数を数えている。
- c 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- d 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立桜修館中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「6年間の一貫した教育活動の中で、世界の中の日本人としてのアイデンティティをもって国際社会を担う人材を育成する学校」を目指し、研究論文の作成、6年間の系統的な進路指導、国際交流事業といった教育活動を通じて、真理の探究を極め、困難な課題に主体的に取り組み、粘り強く解決できる生徒を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 現代文、古文、漢文などを幅広く学び、日本語で豊かに表現する力を養う。
- (2) 説明的文章などから自分の考えを深め、論理的な思考力・表現力を育てる。
- (3) プレゼンテーションを活用し、学習の成果や自分の考え・意見を発表する能力を育成する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	中等教育学校基本計画検討委員会報告書 中高一貫教育校の整備に関する検討委員会の報告書 目黒地区中等教育学校特色ある教育活動について 目黒地区中等教育学校 教育課程 第1章 令和5年度学校経営計画	個
b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を扱った教材数を調査する。
- b 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	b 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	18	9	23	19
三省堂	23	5	32	20
教出	26	6	23	25
光村	24	10	29	28
平均値	22.8	7.5	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 古典作品や古典作品の一部を引用しながら現代語で書かれた文章など、古典教材として位置付けられている教材数を数えている。
- b 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立立川国際中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「国際社会に貢献できるリーダーとなるために必要な学業を修め、人格を陶冶する」という教育目標を実現するために、Road to Global Citizen—Think Globally, Act Locally—を掲げ、特色あるプログラムを通じて日常から養える国際感覚と多様性をもつ生徒を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 読書指導に継続的に取り組み、読む力を育てるとともに、思考力にもつながる幅広い教養を身に付けさせる。
- (2) 論理性と表現力を培うために、論理的思考力を高めるための指導や思考を構造化する技術について段階的に指導する。
- (3) 暗唱を通して古典に親しむとともに、古典常識や文法などの学習を通して古典が読める力を確実に身に付けさせる。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	立川地区中高一貫6年制学校（国際中等教育学校）基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 豊かな読書活動へと発展する教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 日本の文化・伝統に対する関心や理解を深め、継承・発展させる態度を身に付けさせるため、古典を扱った教材数を調査する。
- b 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	b 豊かな読書活動へと発展する教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	18	42	23	19
三省堂	23	31	32	20
教出	26	48	23	25
光村	24	32	29	28
平均値	22.8	38.3	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 古典作品や古典作品の一部を引用しながら現代語で書かれた文章など、古典教材として位置付けられている教材数を数えている。
- b 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立武蔵高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「向上進取の精神」のもと、地球規模の課題を「自分ごと化」していく武蔵独自の探究活動である「地球学」を軸とし、中高6年間の一貫性を持った体系的なキャリア教育を通して、豊かな知性と感性を育て、健康な心と体を養い、一人一人の高い進路目標を確立し、実現することで、「国際社会に貢献する知性豊かなリーダー」を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるため、討論や発表等の授業形態を取り入れる。
- (2) 国語学習全体を通じて読書に親しむ姿勢を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	武蔵野地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 豊かな読書活動へと発展する教材数	同上	個
c 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	同上	個
d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- b 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- c 自分の考え・意見を正確に分かりやすく伝える能力を育成するため、発表活動や話し合い活動等の内容を扱うなど、音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数を調査する。
- d 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 国際的な視野に立った内容を扱っている 教材数	b 豊かな読書活動へと発展する教材数	c 音声言語による伝え合う力の育成を図る 教材数	d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数
東書	9	42	15	23
三省堂	5	31	19	32
教出	6	48	20	23
光村	10	32	30	29
平均値	7.5	38.3	21.0	26.8

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- b 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- c スピーチやディベートなどの発表活動や話し合い活動等音声言語による伝え合う力の育成を図る活動の内容や方法を扱っている教材数を数えている。
- d 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立富士高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「教養、調和、挑戦」を目標とし、自主自律、文武両道の精神の下、6年間一貫通貫した探究活動を中心とした教育活動を通じて理数的課題発見力・解決力を育成するとともに、新しい価値観と既存の価値観を調和させ、社会の課題を解決するために自己の限界に挑戦できる人間を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 「話すこと・聞くこと」の能力を育成するために、また、適切に表現し、正確に理解する力を育成するために、読書指導と発表活動を融合し、伝え合う力を身に付けさせる。
- (2) 少人数学習による作文指導を通して、「書くこと」の能力を育成し、思考力や想像力を養い、言語感覚を豊かにする。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 豊かな読書活動へと発展する教材数	中野地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- b 自分の考え・意見を正確に分かりやすく伝える能力を育成するため、発表活動や話し合い活動等の内容を扱うなど、音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 豊かな読書活動へと発展する教材数	b 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	42	15	23	19
三省堂	31	19	32	20
教出	48	20	23	25
光村	32	30	29	28
平均値	38.3	21.0	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- b スピーチやディベートなどの発表活動や話し合い活動等音声言語による伝え合う力の育成を図る活動の内容や方法を扱っている教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立大泉高等学校附属中学校の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

「自主・自律・創造」を教育目標に、6年間の系統性とゆとりある中高一貫教育の中で、物事の真理を深く考え、筋道を立てて明らかにする探究活動等を通して、夢の発見と実現に向けたきめ細かな教育の実践により、国際社会で活躍する多様な人間力を育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 読む能力を育てるために、現代文、古文(漢文を含む)などの様々な文章を比較して読ませ、目的や必要に応じて音読や朗読をさせる。
- (2) 「書くこと・話すこと」を通し伝え合う力を高め、思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。

3 教科書の調査研究

内容(調査結果は「別紙」)

調査研究項目(調査研究の対象)	対象の根拠	数値データの単位
a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	練馬地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- b 自分の考え・意見を正確に分かりやすく伝える能力を育成するため、発表活動や話し合い活動等の内容を扱うなど、音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 国際的な視野に立った内容を扱っている 教材数	b 音声言語による伝え合う力の育成を図る 教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	9	15	23	19
三省堂	5	19	32	20
教出	6	20	23	25
光村	10	30	29	28
平均値	7.5	21.0	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- b スピーチやディベートなどの発表活動や話し合い活動等音声言語による伝え合う力の育成を図る活動の内容や方法を扱っている教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立南多摩中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

心・知・体のバランスのとれた生徒を育てるため教養教育を推進し、学力・突破力・協働能力・探究力の育成を図り人間力を育む。フィールドワーク等特色ある教育活動により、6年間を通して“確かな学力”を身に付けさせる。新たな価値を創造し、主体性をもって国際社会の様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 「読む」という体験を通して「話すこと・聞くこと」「書くこと」へと展開し、集大成として「論文制作」を目指す。
- (2) 「調べる」「聞き書きする」「文章にまとめる」「発表する」という多様な言語活動を展開し、確かな言語能力を養い、豊かな言語表現ができるように指導する。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	八王子地区中高一貫6年制学校基本計画検討委員会報告書第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 豊かな読書活動へと発展する教材数	同上	個
c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個
d 文章表現能力の育成を図る教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- b 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- c 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。
- d 思考力や想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付け、文章表現能力を育成するため、様々な種類の文章を書く内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	b 豊かな読書活動へと発展する教材数	c 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	d 文章表現能力の育成を図る教材数
東書	9	42	23	19
三省堂	5	31	32	20
教出	6	48	23	25
光村	10	32	29	28
平均値	7.5	38.3	26.8	23.0

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- b 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- c 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。
- d 感想文や意見文、レポート等の内容を考える方法や文章の組み立て方等を指導内容とする、作文指導に関する教材数を数えている。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者

冊数	発行者の略称
12冊	東書、三省堂、教出、光村

2 都立三鷹中等教育学校（前期課程）の教育課程

【教育課程編成の基本方針】

思いやりの心を持った社会的なリーダーの育成を目標に、互いの基本的人権を尊重し、豊かな人間性と高い見識、幅広い視野を培い、自立と共生の精神を養う。6年間の体系的な教育課程、発達段階に応じた体験的な学習、異年齢集団による特別活動や地域連携、国際理解教育といった教育活動を通じて、世界にはばたく社会的リーダーを育成する。

【国語における学習指導の展開】

- (1) 国語を正確に理解し、適切に表現する力を育成する。
- (2) 考えるための読解力、心情理解の養成に重点を置き、文学作品を中心に様々なジャンルの作品を読解し、鑑賞する態度を養う。

3 教科書の調査研究

内容（調査結果は「別紙」）

調査研究項目（調査研究の対象）	対象の根拠	数値データの単位
a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	三鷹地区中高一貫6年制学校 基本計画検討委員会報告書 第3章 令和5年度学校経営計画	個
b 豊かな読書活動へと発展する教材数	同上	個
c 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	同上	個
d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数	同上	個

※調査研究項目を設定した理由

- a 異文化に対する関心や理解を深め、広く社会に貢献する態度を身に付けさせるため、国際的な視野に立った内容を扱っている教材数を調査する。
- b 広く深い教養を身に付けさせるため、豊かな読書活動へと発展するよう多くの作品が紹介されている教材数や読書教材として扱われている教材数を調査する。
- c 自分の考え・意見を正確に分かりやすく伝える能力を育成するため、発表活動や話し合い活動等の内容を扱うなど、音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数を調査する。
- d 論理的に思考・判断・表現する力を育て様々な課題を解決する能力を育成するため、論理的に考えて表現する内容を扱っている教材数を調査する。

項目 発行者	a 国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	b 豊かな読書活動へと発展する教材数	c 音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	d 論理的な思考力・表現力を育てる教材数
東書	9	42	15	23
三省堂	5	31	19	32
教出	6	48	20	23
光村	10	32	30	29
平均値	7.5	38.3	21.0	26.8

表中の「平均値」は小数点以下第2位を四捨五入している。

- a 日本以外の国の文化を紹介するなど国際的視野に立って書かれている現代文の教材数を数えている。
- b 読書案内など本の紹介を行っている教材数や読書教材として位置付けられている作品などの教材数を数えている。
- c スピーチやディベートなどの発表活動や話し合い活動等音声言語による伝え合う力の育成を図る活動の内容や方法を扱っている教材数を数えている。
- d 論理的な思考力や表現力を育てることを目的に、根拠に基づいて論理的に考え、表現する方法などを扱った教材数を数えている。

文種	作品名等	氏名	
説明的な文章	朗読の世界	魚住りえ	
	詩の心—発見の喜び	嶋岡慶	
	オオカミを見る目	高柳成紀	
	平和のボタン	弓野匡純	
	私のタンポポ研究	保谷彰彦	
	ニュースの見方を考えよう	池上彰	
	羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡	満園文博	
	チョウはなぜ飛ぶか	日高敏隆	
	「ろう者」として生きる	忍足亜希子	
	短歌を楽しむ	道浦母都子	
	猫だって推理できる	高木佐保	
	経師—世界に誇る伝統食	小泉武夫	
	黄金の扇風機	田中真知	
	サハラ砂漠の茶会	千住博	
	「正しい」言葉は信じられるか	香西秀信	
	共有地の悲劇	伊勢武史	
	無理なくできることから	田中直樹	
	俳句の読み方、味わい方	片山由美子	
	絶滅の意味	中静透	
	何のために「働く」のか	妻尚中	
	受け取る「利他」	中島岳志	
	「利己」と「利他」	児玉聡	
	夜を乗り越える	又吉直樹	
	何のために「学ぶ」のか	茂木健一郎	
	本の読み方	平野啓一郎	
	本を読めなくなった人のための読書論	若松英輔	
	読書の価値	森博嗣	
	小説以外	恩田陸	
	いつものように新聞が届いた—メディアと東日本大震災	今野俊宏	
	好きの地平線を探して—宇宙からウクライナへ	井上椿香	
	文学的な文章	蜘蛛の糸	芥川龍之介
		ごんぎつね	新美南吉
私たちの未来		朝井リョウ	
さんちき		吉橋通夫	
たまごを持つように		まはら三桃	
はてしない物語		ミヒヤエル・エンデ	
少年の日の思い出		ヘルマン・ヘッセ	
あの夕暮れへ帰る		原田マハ	
足跡		瀧羽麻子	
字のない葉書		向田邦子	
時をかける少女		筒井康隆	
この世界の片隅に		壽田陽平	
走れメロス		太宰治	
世界への入り口		温又柔	
形		菊池寛	
百科事典少女		小川洋子	
故郷		魯迅	
詩歌		風の五線譜	高階紀一
		チューリップ	三好達治
		雲	山村暮鳥
	虫	八木重吉	
	土	三好達治	
	最後のシャボン玉	銀色夏生	
	ばら	工藤直子	
	波	江口あけみ	
	月夜の電車	尾形亀之助	
	月夜の浜辺	中原中也	
	胸にある	立原道造	
	一本の木は	岸田衞	
	わたしの中にも	新川和江	
	未来へ	谷川俊太郎	
	桜ばな	岡本かの子	
	金色の	与謝野晶子	
	海を知らぬ	寺山修司	
	観覧車	栗木京子	
	くれなゐの	正岡子規	
	最上川	斎藤茂吉	
	白鳥は	若山牧水	
	不來方の	石川啄木	
	「寒いね」と	俵万智	
	さみしくて	杉崎恒夫	
	よく晴れた	岡野大嗣	
	幸福と	服部真里子	
	距離を置く	千原こはぎ	
	落葉松	北原白秋	
	ほんとうに	穂村弘	
	卒業生	千葉聡	
	わたしが一番きれいだったとき	茨木のり子	
	生命は	吉野弘	
	たんぽぽや	中村汀女	
	囀を	星野立子	
	をりととりて	飯田蛇笏	
	春風や	高浜虚子	
	万緑の	中村草田男	
	赤蜻蛉	正岡子規	
	冬菊の	水原秋櫻子	
	分け入っても	種田山頭火	
	水の地球	正木ゆう子	
	かき氷	小林薫	
	つきぬけて	山口誓子	
	見えさうな	津川絵理子	
	初恋	島崎藤村	
雪の夜の	日野草城		
ふるさとを	照井翠		
レモン哀歌	高村光太郎		
生ましめんかな	栗原貞子		

文種	作品名等	氏名
古典	伊曾保物語	未詳
	竹取物語	未詳
	韓非子	韓非
	枕草子	清少納言
	徒然草	兼好法師
	平家物語	未詳
	春晓	孟浩然
	黄鶴楼	李白
	春望	杜甫
	万葉集	額田王
	万葉集	柿本人麻呂
	万葉集	山部赤人
	万葉集	山上憶良
	万葉集	大伴家持
	古今和歌集	紀貫之
	古今和歌集	源宗子
	古今和歌集	小野小町
	古今和歌集	在原業平
	新古今和歌集	太上天皇
	新古今和歌集	西行法師
	新古今和歌集	藤原定家
	新古今和歌集	式子内親王
	おくのほそ道	松尾芭蕉
	論語	未詳

	男性	女性
説明的な文章	76.7%	23.3%
文学的な文章	64.7%	35.3%
詩歌・古典	67.1%	32.9%
全体	69.2%	30.8%

文種	作品名等	氏名
説明的な文章	ペンギンの防寒着	上田一生
	クジラの飲み水	大隅清治
	本を読むことのおもしろさ	又吉直樹
	一〇〇〇円の価値を考える	八木陽子
	「このあたり」ってどのあたり？	野村萬斎
	漢字文化をアレンジする日本の力	笹原宏之
	「みんなているから大丈夫」の怖さ	山村武彦
	意味と意図——コミュニケーションを考える	川添愛
	宇宙に行くための素材	白石紀子
	人間は他の星に住むことができるのか	渡部潤一
	短歌の世界	俵万智
	壁に残された伝言	井上恭介
	生涯の友と出会う	小川洋子
	味は味覚だけでは決まらない	源河亨
	一〇〇年後の水を守る	橋本淳司
	飲み水は不足しているか	沖大幹
	動物園でできること	奥山英登
	「批判的に読む」とは	吉川芳則
	間の文化	長谷川權
	俳句の世界	夏井いつき
	海を越えた故郷の味	安田菜津紀
	言葉は傘	藤崎彩織
	フロン規制の物語——〈恋愛〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで	神里達博
	見たいものだけ見る私たち	笹原和俊
	私とは何か	平野啓一郎
文学的な文章	電	今江祥智
	空中ブランコ乗りのキキ	別役実
	字のない葉書	向田邦子
	トロッコ	芥川龍之介
	少年の日の思い出	ヘルマン=ヘッセ
	セミロングホームルーム	戸森しるこ
	小さな手袋	内海隆一郎
	走れメロス	太宰治
	握手	井上ひさし
	香壁は猫である	夏目漱石
	一瞬の風になれ	佐藤多佳子
	故郷	魯迅
	坊っちゃん	夏目漱石
	銀河鉄道の夜	宮沢賢治
	ノートルダムの鐘	ヴィクトル=ユゴー
走れメロス	太宰治	
詩歌	朝のリレー	谷川俊太郎
	それだけでいい	杉みき子
	故郷	高野辰之
	始まりの歌	長屋晴子
	名づけられた葉	新川和江
	「寒いね」と	俵万智
	観覧車	栗木京子
	くれなゐの	正岡子規
	その子二十	与謝野晶子
	みちのくの	斎藤茂吉
	草わかば	北原白秋
	白鳥は	若山牧水
	不來方の	石川啄木
	列車にて	寺山修司
	シャボンまみれの	穂村弘
	空をゆく	梅内美華子
	細胞の	永田紅
	大阿蘇	三好達治
	人質	シラー
	宿命	藤原聡
	言の森	西尾勝彦
	桐一葉	高浜虚子
	秋つぼめ	黒田杏子
	ぬうぬうと	藤本敏史
	林道の	村上健志
	囁りを	星野立子
	葉の花が	細見綾子
	縊して	杉田久女
	万緑の	中村草田男
	芋の露	飯田蛇笏
星空へ	橋本多佳子	
いくたびも	正岡子規	
繭虫や	神野紗希	
分け入つても	種田山頭火	
入れものが	尾崎放哉	
観覧車	栗木京子	
シャボンまみれの	穂村弘	
初恋	島崎藤村	
山のあなた	カール=ブッセ	
群青	Ayase	

文種	作品名等	氏名
古典	竹取物語	未詳
	韓非子	韓非
	枕草子	清少納言
	徒然草	兼好法師
	平家物語	未詳
	春晓	孟浩然
	黄鶴楼	李白
	春望	杜甫
	絶句	杜甫
	万葉集	額田王
	万葉集	柿本人麻呂
	万葉集	大津皇子
	万葉集	石川郎女
	万葉集	山上憶良
	古今和歌集	紀貫之
	古今和歌集	小野小町
	古今和歌集	紀友則
	古今和歌集	源宗子
	古今和歌集	在原業平
	新古今和歌集	藤原定家
	新古今和歌集	式内親王
	新古今和歌集	西行法師
	おくのほそ道	松尾芭蕉
	論語	未詳

	男性	女性
説明的な文章	68.0%	32.0%
文学的な文章	81.2%	18.8%
詩歌・古典	67.7%	32.3%
全体	69.9%	30.1%

文種	作品名等	氏名	
説明的な文章	聞くということ	阿川佐和子	
	自分の脳を知っていますか	池谷裕二	
	全ては編集されている	池上彰	
	「エシカル」に生きよう	末吉里花	
	森には魔法つかいがいる	富山重篤	
	子どもの権利	大谷美紀子	
	花の形に秘められたふしぎ	中村匡男	
	言葉がつながる世界遺産	橋本典明	
	地域から世界へ—ものづくりで未来を変える—	関根由子	
	日本の花火の楽しみ	小野里公成	
	水の山 富士山	丸井敦尚	
	夢を遊ぶ	谷真海	
	SNSから自由になるために	高橋暁子	
	「ここにいる」を言う意味	ロバート キャンベル	
	一〇〇年後のみなさんへ	緒方貞子	
	紙の建築	坂茂	
	短歌の味わい	穂村弘	
	ガイアの知性	龍村仁	
	悩む力	姜尚中	
	学ぶ力	内田樹	
	薔薇のボタン	梯久美子	
	メディア・リテラシーはなぜ必要か？	森達也	
	AIは哲学できるか	森岡正博	
	async—同期しないこと	坂本龍一	
	問いかける言葉	園谷裕子	
	俳句の味わい	堀本祐樹	
	宇宙からの贈りもの	毛利衛	
	人間と科学・技術	志村史夫	
	生命とは何か	福岡伸一	
	地球は死にかかっている	手塚治虫	
	青春の歌—無名性の光	穂村弘	
	文学的な文章	桜餅	田丸雅智
ベンチ		ハンス=ペーター=リヒター	
蜘蛛の糸		芥川龍之介	
オツベルと象		宮沢賢治	
音を追いかけて		まはら三桃	
少年の日の思い出		ヘルマン=ヘッセ	
タオル		重松清	
銀河鉄道の夜		宮沢賢治	
風少年		小椋山博	
坊っちゃん		夏目漱石	
夏の葬列		山川方夫	
走れメロス		太宰治	
散歩		長田弘	
さくら餅そのほか		川上弘美	
立ってくる春		川上弘美	
なぜ物語が必要なのか		小川洋子	
私		三崎亜記	
最後の一句		森鷗外	
故郷		魯迅	
バースデイ・ガール		村上春樹	
詩歌		ふしぎ	金子みすゞ
		河童と蛙	草野心平
		春	安西冬衛
		耳	ジャン=コクトー
	虫	八木重吉	
	雪	三好達治	
	葡萄に種子があるように	高見順	
	名づけられた葉	新川和江	
	虹の足	吉野弘	
	白鳥は	若山牧水	
	濁流だ	斎藤史	
	観覧車	栗木京子	
	春のプール	穂村弘	
	くれなゐの	正岡子規	
	ああ早月	与謝野晶子	
	みちのくの	斎藤茂吉	
	不來方の	石川啄木	
	日本脱出	塚本邦雄	
	海を知らぬ	寺山修司	
	俺は帰るぞ	佐佐木幸綱	
	自転車の	俵万智	
	おねがいね	東直子	
	もう二度と	小島なお	
	「すごい人」	穂村弘	
	「すごい人」	下目黒りんご	
	「もう一度」	本田真弓	
	ふるさとの	石川啄木	
	豚	木坂涼	
	見えないだけ	牟礼慶子	
	春に	谷川俊太郎	
	渡り鳥	上田五千石	
	おおかみに	金子兜太	
	ずぶぬれて	住宅顕信	
	火焰土器	堀本祐樹	
	春風や	高浜虚子	
	卒業の	芝不器男	
	ものの種	日野草城	
	夏草や	正岡子規	
	万緑の	中村草田男	
	かぶとむし	宇多喜代子	
	星空へ	橋本多佳子	
	秋草に	木下夕雨	
	よし分かった	池田澄子	
	冬菊の	水原秋櫻子	
	木の葉	加藤楸榔	
	息白く	後藤夜半	
	分け入っても	種田山頭火	
咳をしても	尾崎放哉		
戦争が	渡部白泉		
向日葵を	加留かるか		
あかん	島田陽子		
初恋	島崎藤村		
水の星	茨木のり子		
雲を雲と	澤村齊美		

文種	作品名等	氏名	
詩歌	「うごく」	伴風花	
	互いしか	野口あや子	
	椅子にもたれ	永田紅	
	どこに行けば	永田紅	
	ああ君が	永田紅	
	十代に	小島なお	
	やわらかな想い	さくらももこ	
	古典	竹取物語	未詳
		韓非子	韓非
		孟子	孟子
平家物語		未詳	
枕草子		清少納言	
徒然草		兼好法師	
論語		未詳	
おくのほそ道		松尾芭蕉	
万葉集		額田王	
万葉集		持統天皇	
万葉集		山部赤人	
万葉集		大伴家持	
万葉集		山上憶良	
古今和歌集		紀貫之	
古今和歌集		源宗子	
古今和歌集		小野小町	
新古今和歌集		藤原定家	
新古今和歌集		西行法師	
新古今和歌集		式子内親王	
黄鶴楼		李白	
春晓		孟浩然	
春望		杜甫	
下翠岑	良寛		

	男性	女性
説明的な文章	71.0%	29.0%
文学的な文章	80.0%	20.0%
詩歌・古典	63.3%	36.7%
全体	67.7%	32.3%

文種	作品名等	氏名	
説明的な文章	ダイコンは大きな根？	稲垣栄洋	
	ちょっと立ち止まって	桑原茂夫	
	比喩で広がる言葉の世界	森山卓郎	
	守ろう 地域の言葉	木部暢子	
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	鈴木俊貴	
	「不便」の価値を見つめ直す	川上浩司	
	四百年のスローライフ	渡辺佑基	
	はやぶさ2 最強ミッションの真実	津田雄一	
	未来をひらく微生物	大島泰郎	
	クマゼミ増加の原因を探る	沼田英治	
	短歌に親しむ	栗木京子	
	言葉の力	大岡信	
	デジタル市民として生きる	坂本旬	
	「わからない」は人生の宝物	鴻巣友季子	
	モアイは語る—地球の未来	安田喜憲	
	君は「最後の晚餐」を知っているか	布施英利	
	「最後の晚餐」の新しさ	藤原えりみ	
	作られた「物語」を越えて	山極寿一	
	俳句の可能性	宇多喜代子	
	まずは、科学的根拠に基づき、現状や原因を正しく理解すること	真鍋淑郎	
	社会全体で解決できる仕組みを作る	伊勢武史	
	一人が踏み出す一歩は、実は大きな一歩	堅達京子	
	それでも、言葉を	齋田清一	
	天、共に在り	中村哲	
	アフガニスタンの診療所から	中村哲	
	わたしは「ゼロ弾きのゴーシュ」	中村哲	
	極夜行	角唯唯介	
	文学的な文章	はじまりの風	蜂飼耳
よだかの星		宮沢賢治	
蜘蛛の糸		芥川龍之介	
あと少し、もう少し		瀬尾まいこ	
西の魔女が死んだ		梨木香歩	
大人になれなかった弟たちに……		米倉齊加年	
星の花が降るころに		安楽みきえ	
少年の日の思い出		ヘルマン・ヘッセ	
二十歳になった日		さくらももこ	
待ちわびるといふ幸せ		中川樹里	
アイズプラネット		椎名誠	
星の王子さま		サン＝テグジュペリ	
ヒューマノイド		伊坂幸太郎	
字のない葉書		向田邦子	
父と話せば		温又柔	
走れメロス		太宰治	
握手		井上ひさし	
言葉の釣り糸を垂らす		いしいしんじ	
羊と鋼の森		宮下奈都	
故郷		魯迅	
雪国		川端康成	
カカ・ムラド		中村哲	
希望の一滴		中村哲	
温かいスープ		今道友信	
アラスカとの出会い		星野道夫	
律儀な桜		角田光代	
詩歌		朝のリレー	谷川俊太郎
		あしたこそ たんぼぼはるか	工藤直子
	おれはかまきり かまきりりゅうじ	工藤直子	
	風景 純銀もざいく	山村暮鳥	
	雲	山村暮鳥	
	朝	吉田加南子	
	魚と空	木坂涼	
	チューリップ	三好達治	
	夕日がせなかをおしてくる	飯田寛夫	
	ねがいごと たんぼぼはるか	工藤直子	
	ふしぎ	金子みすゞ	
	ひとり林に……	立原道造	
	土	三好達治	
	六月を	正岡子規	
	山頂から	小野十三郎	
	大阿蘇	三好達治	
	素朴な琴	八木重吉	
	雪	三好達治	
	なつかしき	石川啄木	
	冬が来た	高村光太郎	
	ぼくが ここに	まど・みちお	
	見えないだけ	牟礼慶子	
	窓あけて	種田山頭火	
	やはらかに	石川啄木	
	清水へ	与謝野晶子	
	くれなゐの	正岡子規	
	夏のかげ	与謝野晶子	
	死に近き	斎藤茂吉	
	鯨の世紀	馬場あき子	
	蛇行する	俣万智	
	白鳥は	若山牧水	
	不來方の	石川啄木	
	のほり坂の	佐々木幸綱	
	ぼぼぼと	河野裕子	
	観覧車	栗木京子	
	一本の	木下龍也	
	びびり	杉田久女	
	海を知らぬ	寺山修司	
	月夜の浜辺	原中道也	
	葡萄食ふ	中村草田男	
	葛の花	萩原望江	
	街をゆき	木下利玄	
「寒いね」と	俣万智		
鍵	茨木のり子		
世界はうつくしいと	長田弘		
春風や	高浜虚子		
どの子にも	飯田龍太		
いくたびも	正岡子規		
跳箱の	友岡子郷		
たんぼぼの	加藤敏郎		
分け入っても	種田山頭火		
バスを待ち	石田波郷		

文種	作品名等	氏名
詩歌	ちるさくら	高屋窓秋
	萬緑の	中村草田男
	山越える	桂権子
	いなびかり	橋本多佳子
	金剛の	川端茅舎
	冬菊の	水原秋櫻子
	星空は	神野紗希
	咳をしても	尾崎放哉
	虹立ちて	高浜虚子
	海落ちて	水原秋櫻子
	挨拶—原爆の写真によせて	石垣りん
	初恋	島崎藤村
	つきぬけて	山口誓子
	秋たつや	三浦信良
	叱られて	久保田万太郎
	星めぐりの歌	宮沢賢治
	わたしを束ねないで	新川和江
	初日	池田環子
古典	竹取物語	未詳
	韓非子	韓非
	枕草子	清少納言
	平家物語	未詳
	徒然草	兼好法師
	春暁	孟浩然
	絶句	杜甫
	黄鶴樓	李白
	春望	杜甫
	論語	未詳
	万葉集	持統天皇
	万葉集	柿本人麻呂
	万葉集	額田王
	万葉集	山部赤人
	万葉集	山上憶良
	万葉集	大伴家持
	古今和歌集	紀貫之
	古今和歌集	在原業平
	古今和歌集	小野小町
	新古今和歌集	西行法師
	新古今和歌集	藤原定家
	新古今和歌集	式子内親王
	おくのほそ道	松尾芭蕉

	男性	女性
説明的な文章	77.8%	22.2%
文学的な文章	61.5%	38.5%
詩歌・古典	70.0%	30.0%
全体	69.9%	30.1%